

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：角・奈良井]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

## 令和元年度病害虫発生予察情報 注意報第1号

令和元年9月5日

島 根 県

県内ではトビイロウンカ成幼虫の生息密度が高まっています。一部地域では坪枯れ被害が発生し、今後、本虫による被害拡大の恐れがあるため、注意報を発表します。現地では、特に収穫が遅い品種における発生状況の把握に努め、適切な防除対策を講じてください。

### 記

1. 病害虫名 イネ トビイロウンカ
2. 発生地域 県内全域
3. 発生時期 9月上旬以降
4. 発生量 多い

### 5. 注意報発表の根拠

- 1) 8月28～30日の巡回調査（粘着板による払い落とし）において、発生ほ場率は56.1%（平年29.1%）と高く、捕獲虫数は16.5頭/50株（平年2.6頭）と過去10年間で最も多い。（図1）
- 2) 一部の‘きむぬすめ’ほ場では坪枯れが認められる。（図2，3）
- 3) 坪枯れ発生ほ場では、枯死株以外の株において1株当たり100頭以上（成幼虫）の寄生が認められ、被害の拡大が懸念される。
- 4) 8月下旬に予察灯（出雲市、益田市）において長翅成虫の誘殺を確認した。
- 5) 発生ほ場は全般に7月下旬に比べ増加傾向にあり、生息密度は県東部に比べて県西部で多い。
- 6) 1か月予報（8月29日広島地方気象台発表）によると、9月の気象は本種の発生を抑制する要因とはならない。

### 6. 防除対策および防除上の注意事項

- 1) 現在、ほ場で確認される成虫は第2世代成虫と8月下旬飛来世代と推定され、次世代幼虫の発生は9月上旬～中旬と考えられる。
- 2) 9月下旬以降に収穫期を迎える品種、収穫が遅れているほ場などは、特に発生状況に注意する。
- 3) 防除は9月上旬の老齢幼虫～成虫期に成幼虫が1株当たり10頭以上であれば必要である。本虫は同一ほ場内でも生息密度に偏りが見られることに留意し、発生状況の把握に努める。
- 4) 散布に当たってはトビイロウンカの生息部位である株元に、薬剤が十分到達するように努める。散布後は防除効果の確認を行う。
- 5) 薬剤の使用に当たっては、農薬の使用基準ならびに農作物病害虫雑草防除指針の注意事項を遵守する。

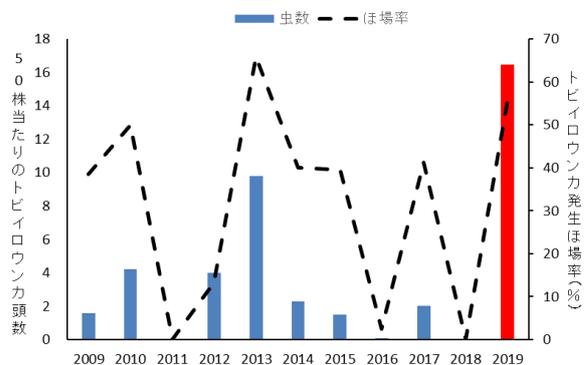


図1 過去10年間のトビイロウンカ発生ほ場率および捕獲虫数（8月下旬）



図2 トビイロウンカによる坪枯れ



図3 株元のトビイロウンカ成幼虫

**島根県病虫害防除所**

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL 0853-22-6772

FAX 0853-24-3342

[https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo\\_tech/byougaityuu/](https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/)

○病虫害防除所のホームページでは発生予察情報の他、各種情報を掲載しています。